

# 飯館・鹿島・原町 任意合併協議会へ向け 準備始まる

相馬地方6市町村による任意合併協議会が7月11日に解散しました。

これを受け、飯館村・鹿島町・原町市では、引き続き3市町村の合併の可能性を話し合うこととし、3市町村による任意合併協議会の設置へ向けて動き始めました。

この任意協議会は、9月中旬に設置される予定です、最終的には12月の法定協議会移行を目標としています。事務局は原町市の文化センター内に置かれ、3市町村から7人の職員が出向し、臨時職員1人含む8人体制で事務にあたります。村から

は2名の職員が出向することになります。また、任意協議会では、11月末までに4回ほど会議を開催し、新しい市の構想等が話し合われます。

村としては、法定協議会への参加については、今後何らかの方法で改めて住民の意思を確認する機会を設けることとしており、これまでと同様に慎重に合併問題に対応する構えです。

なお、この任意協議会設置にかかる経費等の予算は9月議会で審議される予定です。



「あなたの

エンジェル度は？」

少子化対策の計画と、男女共同参画社会づくりの計画を一緒にまとめた冊子「いいたてエンジェルプラン」をご覧になりましたか。

この中の「いいたて鍋を広げよう」「出る杭になれ」「父子手帳を」などの行動計画をご覧になったならば、村は何を進めたいと考えているのが解っていたただけではないでしょうか。

総じて言えば「妻にやさしい飯館村に」ということなのです。

「ナニ、妻にやさしく？冗談じゃない」「キザもほどほどにしろ」という批評が聞こえそうです。でも、「妻にやさしい村」にしているかない限り、少子化がますます深刻になったり、離婚されたりして、

自分の老後の生活の首を絞めていることになっていきませんか。どうぞ「いいたてエンジェルプラン」の中にあるチェック項目で、自分の姿を見つめてみてください。

さて、村にとって、いかに少子化対策が大切なのかを、少しでも皆さんに知ってもらいたいということから、「広報いいたて」5月号からひと工夫をしていることをご存知でしょうか。広報の裏表紙の下方に、今月中に村に転入した方と転出した方、生れた方と亡くなられた方の数をわかりやすく掲載しています。この3カ月間で転入は70人、転出は105人、生れた方は15人、そして亡くなった方は21人です。この数字から村の将来像はつきりと見えてくるのではないのでしょうか。

職員が、こんな小さなところで工夫している広報なのです。ぜひ隅まで読んでくださいネ。

平成15年8月28日

飯館村長 菅野 典雄